



choshi
お知らせ
news

3/1 申し込みスタート！ 胃がん・大腸がん検診



申問 健康づくり課 ☎(24)8070

白 覚症状がないから大丈夫だと思っ
ていませんか？早期のがんは自覚症状はありません。自分自身と大切な家族のためにもがん検診を受けましょう。昨年度集団検診を受けた人は申込不用です。料金は当日支払い。

▶日程 4月11日(木)～13日(土)、15日(月)～18日(木)、22日(月)・23日(火)、25日(木)・26日(金)

▶受付時間 8時～11時 ▶場所 保健福祉センター ▶申込方法 電話か窓口

各種健診を春と秋に実施！
9/30には女性限定の検診日
を設けます。
詳しくは4月号折り込みの健康づくり
ガイドで

市役所目の前！



▼種類	▼対象	▼内容	▼料金
胃がん	40歳～ (昭和55年3月31日 以前生まれの人)	胃部X線検査 …バリウム剤を服用した検査	950円
大腸がん		便潜血反応検査 …便の中の血液反応をみる検査。事前に渡す専用容器に2日間便を採って検診日に持参	310円

▶職場や医療機関、国民健康保険短期人間ドックで同様の検査を受ける機会のある人は対象外
▶医療機関で経過観察中の人、自覚症状のある人は医療機関での受診をおすすめします。



市長コラム 53

【洋上風力発電】

銚子市長 越川 信一

洋上風力発電の円滑な導入環境を整備する「再エネ海域利用法」が昨年11月の国会で成立。銚子沖の大規模洋上風力発電（ウインドファーム）の実現可能性が高まってきた。国は全国で5か所程度の「促進区域」を平成31年度内に指定する方針だ。

促進区域ごとに「公募占用指針」が策定され、事業者が国に公募占用計画を提出。国による事業内容などの審査が行われ、最適事業者に最大30年間の海域の占用が許可される仕組みだ。銚子沖ではこれまでNEDOの実証機による調査が行われ、1年を通して強い風と遠浅の海域は洋上風力に最適であることが確認されている。複数の事業者が銚子沖の洋上風力発電計画を提案。新聞・テレビでも大きく報道された。

何よりも大切なのは、海をなりの場として漁業との共生、共存共栄だ。漁獲効果の工夫、自然や景観との調和も不可欠。固定資産税の増加、観光資源としての活用にも期待がかかる。

日本一の漁業のマチ・銚子で、この新たな国家プロジェクトを成功させることが、日本の新たなエネルギー政策を切り開くことにつながる。その決意で「漁業と共生する洋上風力発電」の実現に取り組んでいきたい。

昨年は、第3セクターによる地域新電力会社「銚子電力株式会社」も設立した。地域で発電される再生可能エネルギーを買い取り、地域にできるだけ安く提供しながら、利益を地域貢献に還元する、「電力の地産地消」の取り組みだ。すでに市の公共施設の電力切り替えを行ったが、今年4月からは、市内の事業所や一般家庭への電力販売をスタートさせる計画。

全国屈指の食品産業都市である銚子を、新時代のエネルギー産業都市として発展させていく。そのビジョンを共有していきたい。